木造阿弥陀如来立像

平成７年３月１日　八潮市指定有形文化財（彫刻）
●八潮市大字中央４丁目８番地 20（観音寺）

観音寺の阿弥陀如来立像２躯は、観音寺本尊の脇侍として安置されてきた仏像である。１躯（Ⅰ）は、一木造りの彫眼で素地仕上、藤原様式を強く遺こす鎌倉初期の作、他の１躯（Ⅱ）は寄木造りの玉眼嵌め入れ、金切金様式を遺す鎌倉中期の作で、保存が良く傷みが少ないため、制作当時の意匠をよく伝えている。八潮地方における鎌倉期の阿弥陀如来像は少なく貴重である。

（Ⅰ）

（Ⅱ）

◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：観音寺のイチョウ（常時公開）

◎交通案内

- 八潮駅北口からバス（柳之宮または伊草団地経由草加駅東口行）「八幡小学校前」下車徒歩４分
- 八潮市コミュニティバス西ルート（文化スポーツセンター～保健センター経由）「八幡中学校前」下車徒歩４分

本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。